

2021年度 事業計画書

(2021年4月1日～2022年3月31日)

我が国の経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景として緩やかな回復基調が続いていたものの、世界中で猛威をふるう新型コロナウイルス感染症の影響により景気が下振れしています。新型コロナウイルス感染症については、医療従事者からワクチン接種が開始され、今後は、その普及や気温上昇に伴う感染状況の改善が期待されています。

一方、スポーツを取り巻く環境は、東京オリンピック・パラリンピックの動向も不確定な部分が多く、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けています。また、今年5月に開催予定だった「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」は、2022年に延期が決定しています。そのような中でも開催に至った各種スポーツ大会では、ガイドラインに沿った感染症対策や無観客試合など多くの工夫がなされています。このように国民のスポーツライフが大きく変化した状況で、スポーツの価値が改めて見直される時期がきています。

当財団は、全ての人々がスポーツを楽しめる共生社会の実現に寄与する事を目的に2017年5月に設立し、第1期～第4期まで助成活動を実施してまいりました。

2020年度は「スポーツの学び・体験に関する支援事業」を新たに立ち上げ、これまでの助成事業に加えてセミナー事業を開始しました。スポーツを「する」ということだけでなく、「学ぶ」にも焦点をあてて支援を拡大してまいります。

つきましては、5期目を迎える2021年度の活動として、下記の3項目を推進していく所存でございます。

1. 公益性の高い助成事業及びセミナー事業の実施と拡大
2. 認知度アップに向けたプロモーション活動の継続
3. 独立性と継続性に優れた財団運営

また、助成計画は以下のとおりです。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 障がい者スポーツに関する支援事業 | 22,000千円を計上いたします |
| 2. 次世代を担う人材の育成に関する支援事業 | 30,000千円を計上いたします |
| 3. 富山県のスポーツ振興に関する支援事業 | 18,000千円を計上いたします |
| 4. スポーツの学び・体験に関する支援事業 | 5,000千円を計上いたします |

以上